

やさしい解説

AIT通信

Accounting Information Technology

2007年(平成19年)10月創刊
第37号 平成22年10月号

日本三大菊人形
枚方、武生
二本松!



発行

MCS GROUP

有限会社エーアイティ研究所

〒969-1169

福島県本宮市本宮字小原田 200 番地 2

TEL 0243-33-5538 FAX 0243-33-4467

URL <http://www.motomiya-mcs.jp/ait/>

E-Mail info@motomiya-mcs.jp

【新商品】 パソコン、秋冬商戦スタート!

各パソコンメーカーから秋冬モデルが発表され始めました。Windows 7も発売から1年が過ぎ、シェアを拡大しつつあり、安定感も増してきたように感じます。今月でWindows XPの販売が事実上終了します。パソコンの買い換えを考えるにはちょうどよい時期なのではないでしょうか。

デスクトップは一体型が主流

家電量販店のパソコンコーナーを覗いてみると、いつの間にかデスクトップパソコンは一体型ばかりになりました。ディスプレイと本体が一体になった一体型デスクトップ。ノートパソコンと何が違うのか?という疑問も感じますが、そのスペックの差は意外に大きいように感じます。パソコンを家の中などで持ち運ぶ必要がなく、場所も取らないことを希望されるなら、一体型デスクトップも選択肢のひとつの試みではいかがでしょうか。

ノートパソコンは充実のラインナップ

一世を風靡したネットブックは、iPadの登場でその存在を脅かされていますが、Intel社製モバイル用CPU「Atom」のデュアルコア版を搭載するなど、その弱点を補い、巻き返しを図っています。

また、ネットブックよりもやや大きめのノートは、メインストリームのCPUの低電力版を搭載し、液晶ディスプレイもやや大きめと、持ち運びの手軽さはそのままに、使いやすさを向上しています。

搭載するハードディスクの容量も300~500GBは普通になりました。一昔前に比べると、大容量になった印象があります。

タブレット型は今後に期待

iPadに代表されるタブレット型のデバイスも賑わいを見せ始めています。各メーカーとも、OSやサイズに工夫を凝らし、どのような形態がユーザーに受け入れられるのか、「市場実験」をしているかのような印象を受けます。このカテゴリーはまだこれから開拓される分野で、ユーザーもどのような活用方法を見出すのか、楽しみな分野です。

【インターネット】 ウィルス対策ソフトもクラウド化

秋といえば、各社のウイルス対策ソフトの新バージョンが発売される時期にあたります。今年もメーカー各社から「2011」を冠した新バージョンが発売されました。その中でも、トレンドマイクロ社のウイルスバスターは「クラウド」技術を取り入れ、注目されます。

“重い”ソフトウェアの代表格

数年前まで、ウイルス対策ソフトといえば、OSのリソースを大量に使用する(いわゆる)「重い」ソフトウェアの代表でした。あまりの動作の重さにインストールしないユーザーもいましたが、インターネットの発達に伴い、コンピュータウイルスの脅威も年々増加し、重いから入れないなどとは言えない状況となりました。このような情勢やユーザーからの声に応えるように、各メーカーとも、ウイルス対策ソフトの「軽量化」にも力を入れ、今はリソースの使用量も激減し、動作が軽快になったのは、皆様も体験されていることと思います。

クラウド化でどう変わる?

トレンドマイクロ社が発表した新バージョンの「ウイルスバスター2011クラウド」は、その名称に「クラウド」を盛り込むほどクラウド化にかなりの自信を持っているようです。

ウイルス対策ソフトをクラウドサービス化することのメリットは2つあります。ウイルス検出のシステムをクラウド上(インターネット上)に置くことで、ウイルス定義ファイルをパソコンにダウンロードしなくとも、常に最新の定義ファイルで検査が可能であることと、それに伴い、パソコン内で動作させるシステムを最小限に留めることができる、つまり、動作の軽量化を図ることが可能となります。ウイルス対策ソフトの不満を解消するには、クラウド化はピッタリな選択だったのではないのでしょうか。

IT業界はさまざまなものがクラウドサービス化し始めています。インターネットインフラの高速化、ユビキタス化によって、ますますクラウドの利用の幅が広がっていきます。

【編集後記】 秋と言えば芋煮会ですね。子供の頃、秋の学校行事には必ず「川原で芋煮会」がありました。芋煮会は主に南東北を中心に行われる行事で、全国的にはマイナーです。他県の友人に「芋煮会ってなに?」と聞かれることもままあります。宮城、山形、福島各県でも味付けが異なったりと、地域ごとに特色があって、他県の芋煮を覗いてみるのも楽しいかもしれませんね。(本田)